

令和 3 年 10 月 14 日

## 第 63 回北大祭における新型コロナウイルス感染症対策について

北海道大学大学祭全学実行委員会  
実行委員長 牧 桜子

内容

### 第 63 回北大祭における新型コロナウイルス感染症対策について

1. 北大祭に参加する全ての方にお願する事項	2
(補足 1.1) 消毒液の設置場所および個数について	2
(補足 1.2) 建物内における動線工夫および入場制限について	3
(補足 1.3) ステージ企画における人員配置・席配置	5
(補足 1.4) コロナ感染者や感染が疑われる方の報告系統および対応	6
2. 参加団体へお願する事項	7
(補足 2.1) 参加団体への周知方法・チェック方法の工夫	7
3. 北大祭スタッフの取り組み	8
4. 備考	8
<注釈>	

北大祭とは榆陵祭・農学祭・International Food Festival をはじめとした「各祭」の集合体であり、各祭はそれぞれ独立した学生組織（これらを総称して「各祭実行委員会」と定義）によって運営されています。また、参加団体は北海道大学大学祭全学実行委員会もしくは各祭実行委員会が所管します。第 63 回北大祭においては本文書記載の「第 63 回北大祭全体としてのコロナ対策」を北海道大学大学祭全学実行委員会、全ての各祭実行委員会、および全ての参加団体に遵守していただきます。

1. 北大祭に参加する全ての方にお問い合わせする事項

第63回北大祭に参加される方々に対し、以下の点に協力いただくようお願いいたしますまた以下の点にご協力いただけない場合、第63回北大祭からのお引き取りをお願いする場合があります旨も付記いたします。

1. 事前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある場合や下記の症状等に該当する場合には自宅待機いただくこと。
  - I. 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状
  - II. 過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性判定をうけた方との濃厚接触がある場合
  - III. 過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴および当該在住者との濃厚接触がある場合等
  - IV. 同居家族にIの症状がある、あるいは同居家族がIIまたはIIIに該当する場合
2. マスクを持参し、食事の際以外は原則常時着用いただくこと。なお、種類としては可能な限り、不織布マスクをご利用いただくこと。
3. 札幌キャンパス各所に設置された消毒液や水道にて、手指をこまめに消毒していただくこと。
4. 他者とのソーシャルディスタンスの確保にご協力いただくこと。
5. 大声を出すことを極力控え、咳エチケットに励行いただくこと。
6. 不用意に自身の目、鼻、口を触らないように注意していただくこと。
7. ハンドドライヤーはウイルスを拡散するためトイレでは個人のハンカチ等を使用いただくこと。また、蓋を閉めてから汚物を流すこと。
8. 札幌キャンパス各所に設置されたQRコードを読み込み、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の「北海道コロナ通知システム」を活用いただくこと。  
(北海道新型コロナウイルス感染症対策本部「北海道コロナ通知システム | 経済部経済企画局経済企画課」(URL: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/coronaalertsystm.htm>))
9. 厚生労働省の接触確認アプリ(COCOA)を活用いただくこと。携帯電話端末を所持していない場合は、案内所に立ち寄り氏名およびメールアドレスまたは電話番号を記載していただくこと。
10. 屋内における通行制限・出入口制限にご協力いただくこと
11. 北大祭終了後に感染が確認された場合は、至急北海道大学大学祭全学実行委員会(MAIL: [huf@hokudaisai.com](mailto:huf@hokudaisai.com))へ連絡していただくこと。

(補足 1.1) 消毒液の設置場所および個数について

参加団体の構成員、北大祭スタッフの手指消毒に用いる消毒液の設置個数および場所は以下の見積もりで考えております。

<企画>

全ての企画に最低1つの消毒液を設置いたします。

<主要施設の出入り口>

多くの関係者の利用が予想される以下の施設を「主要施設」と定義し、出入口付近に最低2つの消毒液を設置いたします。なお、設置に際しては各施設管轄部局と個別に相談いたします。

- 遠友学舎
- 獣医学部棟
- 高等教育推進機構
- 工学部棟
- 医学科棟
- 薬学部棟
- 理学部棟
- 人文・社会科学総合教育研究棟
- 農学部棟
- クラーク会館

1. 北大祭に参加する全ての方にお願ひする事項

<お手洗い>

各お手洗いの洗面所付近に最低1つ、出入口付近に最低1つの消毒液を設置いたします。なお、設置に際しては各施設管轄部局と個別に相談いたします。なお、設置に際しては各施設管轄部局と個別に相談いたします。

- 遠友学舎
- 獣医学部棟
- 高等教育推進機構
- 工学部棟
- 医学科棟
- 薬学部棟
- 理学部棟
- 人文・社会科学総合教育研究棟
- 農学部棟
- クラーク会館

(補足 1.2) 建物内における動線工夫および入場制限について

建物内において三密を可能な限り回避するため、一方通行や教室の出入口制限など、主要施設全てにおいて建物別の動線工夫をいたします。本文書では取り急ぎ、北海道大学大学祭全学実行委員会および檜陵祭実行委員会共同管轄の高等教育推進機構における動線工夫を提示いたします。

また主要施設の収容人数を予め算出し、北大祭期間中の収容率を50%以内に抑えます。

<高等教育推進機構1階>



1. 北大祭に参加する全ての方へお願いする事項

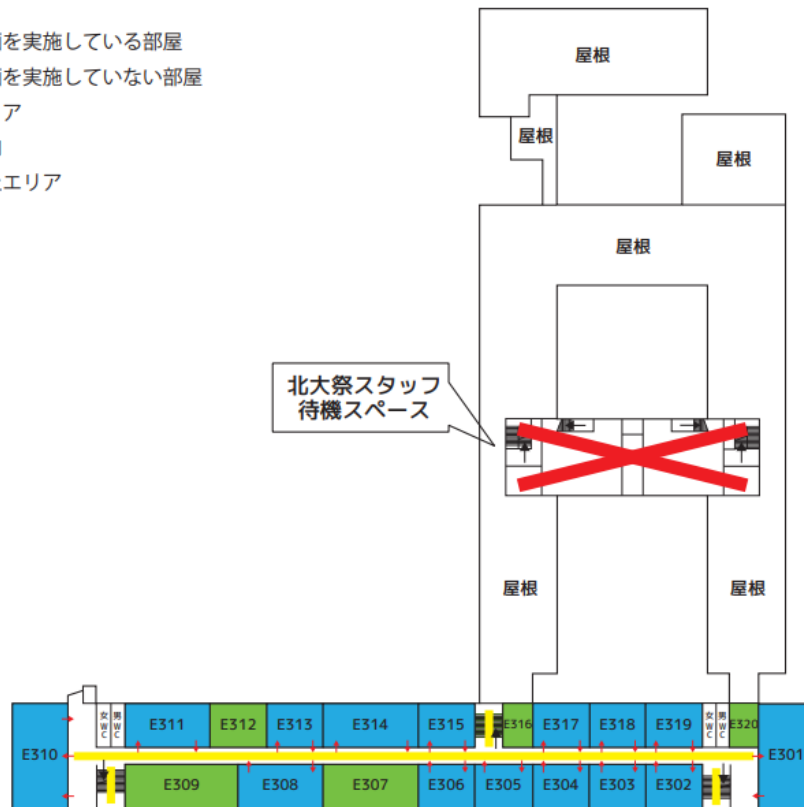
< 高等教育推進機構 2階 >

- : 例年屋内企画を実施している部屋
- : 例年屋内企画を実施していない部屋
- : 左側通行エリア
- : 移動規制方向
- ✕ : 立ち入り禁止エリア



< 高等教育推進機構 3階 >

- : 例年屋内企画を実施している部屋
- : 例年屋内企画を実施していない部屋
- : 左側通行エリア
- : 移動規制方向
- ✕ : 立ち入り禁止エリア



## 1. 北大祭に参加する全ての方をお願いする事項

### (補足 1.3) ステージ企画における人員配置・席配置

本項目では、第 63 回北大祭において実施予定のステージ企画についてのコロナ対策案について記します。本項は内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室策定の業種別ガイドラインのほか、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、一般社団法人北海道ライブ・エンタテインメント連絡協議会が作成した「北海道のライブ・エンタテインメントにおける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」の内容に則って作成しております。

1. スタッフについて
  - 出演者の管理・確認を行います。
  - 北大祭スタッフはマスク着用、手指消毒、手洗い、咳エチケットを徹底します。
2. ステージ出演者について
  - ステージ上では可能な限り距離を保ってパフォーマンスしてもらうことを事前に呼びかけます。
  - ステージ出演者の情報は北大祭事務局が管理し、用紙の提出や検温の実施等により、体調の確認を実施します。
  - ステージ出演者に北大祭前後 2 週間の体調管理を義務付け、不要不急の外出を控えるよう呼びかけます。
  - 出演者には手指の消毒、手洗い等を徹底していただきます。

## 1. 北大祭に参加する全ての方にお問い合わせ事項

(補足 1.4) コロナ感染者や感染が疑われる方の報告系統および対応

第 63 回北大祭において参加団体構成員、北大祭スタッフに、コロナ感染者または感染が疑われる方が発生した場合の報告系統および対応および対応は下記のとおりとします。

<報告系統>

➤ 北大祭期間中の対応

- 参加団体構成員より北大祭スタッフへ「コロナに感染したかもしれない」と報告があった場合。  
→北大祭スタッフより本部（高等教育推進機構 N204 北大祭事務局室）へと報告。
- 北大祭スタッフが「コロナに感染したかもしれない」と思った場合。  
→直ちに本部へと報告。

<対応（参加団体構成員・北大祭スタッフ共通）>

1. 本部へと「コロナに感染したかもしれない」という報告を受ける。
2. 体調不良者の元へ直ちに北大祭スタッフを派遣。
3. 体調不良者を高等教育推進機構に設ける救護室へと案内。
4. 症状を確認し下記の<重篤な症状>に該当する場合、直ちに医療機関・保健所・学務部の順に連絡し指示を仰ぐ。該当しない場合は 5.へ。

<最もよくある症状>

- 発熱
- 空咳
- 倦怠感

<時折みられる症状>

- 痛み
- 喉の痛み
- 下痢
- 結膜炎
- 頭痛
- 味覚または嗅覚の消失

<重篤な症状>

- 呼吸が苦しい  
または息切れ
- 胸の痛みまたは圧迫感
- 言語障害または運動機能の喪失

- 皮膚の発疹、  
または手足の指の変色

5. 症状を確認し上記の<最もよくある症状>または<時折みられる症状>に該当する場合、保健所・学務部の順に連絡し指示を仰ぐ。該当しない場合は 6.へ。
6. 症状を確認し上記のいずれにも該当しない場合、通常の体調不良者と同様に対応。
7. 5.または 6.の対応終了後は救護室を十分に換気・消毒する。

➤ 北大祭期間後（北大祭終了日から 2 週間）の対応

北大祭 HP 上にコロナに感染したと疑われる場合の連絡先として<huf@hokudaisai.com>を明記する。

<対応>

- 参加団体構成員より「コロナに感染したかもしれない」と上記連絡先に連絡があった場合  
→保健所への連絡を促し、参加した企画について情報を提供してもらう。
- 保健所から、北大祭でコロナ感染が疑われる事例について情報提供を求められた時  
→速やかに情報（参加団体構成員、シフト担当者など）の提供に応じる

## 2. 参加団体へお願いする事項

第63回北大祭への参加を希望される団体に対し、上述の「北大祭に参加する全ての方が実施する事項」を構成員各位に順守いただくほか以下の点に協力いただくよう呼びかけます。

新型コロナウイルス感染症対策に係り参加団体へ協力を呼び掛ける事項をまとめた「新型コロナウイルス感染症対策 参加団体向けガイドライン（仮称）」を策定（内容はこちらに記載のものに準拠します）・配布し、説明会を実施することで内容を周知徹底いたします。北大祭期間中はこれらの事項が守られていることを確認いたします。

1. 事前の打ち合わせや準備等では対面にならない席配置とするなど構成員間の感染リスクを低減するよう努め、必要に応じて遠隔会議システムも活用いただくこと。
2. 完全オンライン企画を併用する等、企画内容において感染拡大防止を考慮し、以下のよう企画内容を避けていただくこと。
  - 飲食以外でのマスクの着脱が求められるもの
  - 不特定多数が触れる箇所の消毒が難しいもの
  - 少人数での運営が難しいもの
  - こまめな換気が難しいもの
  - 会食を行うもの
3. 北海道大学大学祭全学実行委員会の製作・配布する、発熱や咳等の症状の有無を記載する「健康チェックシート」を用い直近2週間における参加団体構成員の健康状態を管理していただくこと。
4. 物品の共用を避け、不特定多数が触れやすい場所や備品の消毒を1時間に一度行い、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置いただくこと。
5. 清掃やゴミの廃棄を行う者はビニール手袋の着用を徹底すること。
6. 清掃やゴミの廃棄などの作業を終えた後は手洗いおよび消毒を行うこと。
7. 密集を避けるためシフト管理を工夫していただくこと。
8. こまめな換気を実施すること。
9. 屋内企画においては、使用する部屋の収容率を50%以内とすること。
10. 屋内企画においては、出入口を制限する等動線において参加団体構成員が密にならない工夫をすること。

（補足 2.1）参加団体への周知方法・チェック方法の工夫

上述の「参加団体へお願いする事項」の参加団体への事前の周知方法および当日のチェック方法について、それらが効果的になされるよう以下の工夫を講じます。

- 新型コロナウイルス感染症対策参加団体向けガイドラインの策定・配布。
- 2時間に一度の北大祭スタッフによるチェック（詳細は p.7「北大祭スタッフの取り組み」参照）。

### 3. 北大祭スタッフの取り組み

北海道大学大学祭全学実行委員会においても「参加団体へお願いする事項」を構成員各位が順守するほか、以下の取り組みを実施します。各項目にて具体的な運用方法を記載しました。

1. マスク非着用の参加団体の構成員に対し声掛けし、必要に応じて配布いたします。

<運用方法>

特定のシフトとしてではなく、札幌キャンパス全域で活動する全ての北大祭スタッフの定常業務として運用。

2. 札幌キャンパス各所に設置された消毒液の残量を確認し、必要に応じて補充いたします。また、不特定多数が触れやすい場所や備品の消毒を定期的に行います。

<運用方法>

1時間に一度、北大祭スタッフ2名が札幌キャンパス全域の必要箇所を消毒。残量確認は札幌キャンパス全域で活動する全ての北大祭スタッフの定常業務とし、残量の少ない消毒液を見つけた際は補充担当者へ連絡、常時1名を補充担当者として確保。

3. 上述の「参加団体へお願いする事項」が守られていることを確認いたします。

<運用方法>

2時間に一度、北大祭スタッフ2名が全ての参加団体を確認。

4. 体調を崩した関係者が発生した場合に備え、換気の良い救護室および案内者を確保いたします。

<運用方法>

従来「休養室」として借用していた高等教育推進機構N141・N142を用いる。また常時シフトに入っていない北大祭スタッフを数名待機させ、体調不良者が現れた際の案内者として確保。

### 4. 備考

本件に係る連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会

実行委員長 牧 桜子

MAIL : huf@hokudaisai.com